

# さずな

No.26

令和7年3月発行

採銅所地域コミュニティ協議会(香春町)・・・1, 2  
浮島校区コミュニティ振興会(久留米市)・・・3, 4  
県庁お知らせ掲示板・・・・・・・・・・・・・・4



編集・発行 福岡県 企画・地域振興部 政策支援課  
TEL:092(643)3178 FAX:092(643)3164

## 採銅所地域コミュニティ協議会(香春町)

### 住民の力で未来を切り拓く ～採銅所地域コミュニティ協議会(香春町)～

香春町の高齢化率は42%と高く、特に北部山間部に位置する採銅所地域では、小学校の廃校、コンビニや路線バスの撤退など、日常生活に大きな影響を及ぼす出来事が相次ぎました。しかし、2019年から開始された住民主体の地域づくり活動によって状況は一変し、現在では、全国から視察の申し込みが殺到するなど、注目を集めています。今回は、採銅所地域コミュニティ協議会の取組について紹介します。

#### 地域づくりのはじまり

香春町では、2019年から住民参加型のワークショップを継続的に開催し、住民が望む地域の姿について活発な議論が行われてきました。このワークショップを契機に、採銅所地域からコミュニティ協議会設立の機運が高まり、準備が開始されました。2022年には、地域づくりの進め方を具体的に示した「採銅所地域づくり夢プラン」が策定され、採銅所地域コミュニティ協議会が正式に発足しました。

事務局長の宮原さんは、「人が減っていくと、小学校の廃校やコンビニ、バスの撤退は仕方ないと思っていました。でも、ワークショップに参加していくうちに、このまま何もしなければ子どもの未来は？自分自身の生活は？と真剣に考えるようになり、私も地域運営側に加わろうと思いました」と、協議会に事務局として参加したきっかけについて語ってくれました。

採銅所地域コミュニティ協議会は、「夢プラン」で掲げる6分野（支援・交流・支え合い、遊び・学び、稼ぐ・つくる、農・自然、交通支援、防災）を軸に、様々な取り組みを展開しています。



▲協議会役員メンバー

## 地域の課題を解決へ

路線バスの撤退により、移動手段に困っていた高齢者のために、地域シェアカー「みなクル号」を導入。地域住民が「みなクル友の会」に加入し、会費を支払うことで車両の維持費を捻出しています。

また、買い物支援として、セブン-イレブンの移動販売や、毎週土曜日に開催される「MYdo市(まいどーいち)」も住民の生活を支える重要な役割を担っています。



▲みなクル号 月30回以上稼働しており好評です。

## 子どもの居場所づくり

夏休み期間中には、水鉄砲大会や学習会を開催し、子どもたちの居場所づくりにも取り組んでいます。防災学習を取り入れたキッズキャンプでは、火おこし体験や防災講座などを通じて、子どもたちの防災意識向上を図っています。開催にあたっては、各班ごとに役割分担を決めてリハーサルを行う等、入念に準備が行われました。



▲キッズキャンプの様子  
夕食は、湯せんで作る防災カレー。お風呂がないため地域の方々のお宅にもらい湯に行きました。

## 地域活動をビジネスチャンスに

協議会が製造・販売する「採銅所メンマ」は、道の駅などで販売されているほか、香春町のふるさと納税返礼品にも採用されています。

また、新たに「採銅所のおむすびぱん(生米パン)」の商品化を進めています。このパン販売企画は、地域住民の「パンを作りたい」という思いからスタートしました。当初は、おからクッキーや米粉パンの製造が検討されましたが、紆余曲折を経て、最終的に生米パンにたどり着きました。



▲採銅所のおむすびぱん  
ブランド検討委員会主催の住民投票により、「採銅所のおむすびぱん」と命名されました。米の収穫から加工まで全て採銅所で完結します。

地域で活躍する人物を紹介するために制作された「サイdo男カード(サイドメンカード)」は、当初は地域の小学生に好評でしたが、テレビや新聞で取り上げられたことをきっかけに、県外からも購入者が殺到する人気商品となりました。このカードには、「地域で活躍する人々をもっと知ってもらい、大切にしたい」という事務局長宮原さんの思いが込められています。



▲サイdo男カード

## 未来へつなぐ

採銅所地域では、住民一人ひとりが主役となって地域課題の解決に取り組んでいます。「採銅所に住み続けていくためには何が必要か」住民が本気で考え、意見を交わし合い、行動を起こすことで、様々な取組が生まれています。未来へ繋がる採銅所の挑戦は、これからも続いていきます。

# 行事を通じてひとつの大家族に

## ～浮島校区コミュニティ振興会(久留米市)～

久留米市の西端、筑後川の佐賀県側に位置する浮島校区。周囲約4kmの堤防に囲まれた、人口約510人、世帯数約210世帯の小さな地域です。

しかし、その規模とは裏腹に、100年以上前から続く活発な地域活動が、住民の絆を強く結びつけています。今回は、地域のために尽力する浮島校区コミュニティ振興会の取組を紹介します。



▲振興会役員メンバー

### 地域みんなの運動会

浮島校区の恒例行事である運動会。かつては浮島保育園、浮島小学校と地域が合同で開催していました。小学校閉校後、コロナ禍の影響もあり、中断されていましたが、2023年から校区単独で再開しました。

高齢者から子どもまで、誰もが楽しめるよう工夫を凝らしたプログラムが特徴です。

ジェスチャーゲームやホールインワン競争など、多様な世代が笑顔で交流する姿が見られました。毎年、地域の声を反映させながら内容を進化させ「もっと楽しく」という想いで運営されています。



▲運動会の様子

### 5年ぶり子ども育成会活動再開

コロナ禍と浮島小学校の閉校により、子育て世代の声が地域に届きにくくなっていました。そこで、久留米市の事業「コミュニティ交流会※」を活用し、子育て世代の積極的な参加を促した結果、浮島での子育てに関する活発な意見交換が行われました。

この交流会を契機に、5年ぶりに子ども育成会が活動を再開。振興会による全面的なバックアップのもと、子ども育成会は活性化し、地域活動への参加者の増加、そして多くの親子が笑顔で活動する姿が見られるようになりました。このことは、地域活動に大きな影響を与えています。

※コミュニティ交流会：校区やPTA、学校、市民活動団体等が集まり、地域課題の解決などに向けて話し合い、多様な主体がつながるきっかけの場とする取組。地域活動の担い手育成支援事業。



▲コミュニティ交流会の様子  
約30名が集まりました。



▲芋ほりの様子  
子ども育成会再開後は、たくさんの親子で賑わいました。

## 地域を支える「UKIUKIサポーター」

地域の困りごとを地域で解決する「UKIUKIサポーター制度」は、久留米市46校区の中で初めて浮島校区が導入しました。約30名のメンバーが、草刈りや庭木の剪定、定期的に行う旧浮島小学校の換気や芝刈り等、多岐にわたる活動を通じて地域を支えています。

この取組を通じて、校区に住む色々なスキルを持った方とつながることができ、助け合いの意識が高まりました。



▲活動の様子  
サポーターによる剪定後、植木に詳しい方がアドバイスをくれることも多々あり助かっています。

## この地で未来を育む

秋季大祭や鬼面ウォーキング大会、年越しそば等、地域住民の協力のもと、様々な行事を開催しています。これらの行事は、浮島校区の繋がりを支える大切な柱となっています。

浮島校区は、未来を担う若い世代の育成に力を注いでいます。子ども育成会への支援を通じて、子どもたちや移住者が地域活動に親しみ、この土地の魅力に触れながら成長していくことを願っています。活気あふれる浮島校区の未来は、ここから育みます。



▲左義長の様子  
今年は地域の協力があがり、トリプルタワーに！お雑煮や焼き芋の提供も行い、好評でした。

## 県庁お知らせ掲示板

### 二セ電話気づかせ隊に参加しませんか！

平成27年6月、二セ電話詐欺被害が急増したことを受け「二セ電話気づかせ隊」が発足し、現在、約37万人が隊員として活動しています。

活動内容は「友人等に対する注意喚起や被害者かもしれない方々に対する声掛け」等であり、阻止していただいた隊員には、感謝状と阻止功労賞を贈呈しています。

県民の皆様の安全安心を確保するため、あなたの力をお貸しください。

詳しくは、県警ホームページをご覧ください。



福岡県警察本部生活安全総務課 092-641-4141

### 中山間応援サポーターを募集しています！

中山間応援サポーターは福岡県内の中山間地域で草刈りや農産物の収穫作業などをボランティアでお手伝いしています。小学生以上(18歳未満の方は保護者の同伴が必要)なら誰でも参加でき、登録料や年会費は無料です。

地域の方々と協同で活動しますので、農作業の知識や経験がない方も参加できます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



農山漁村振興課 092-643-3503